

平成25年度決算に基づく健全化判断比率 および資金不足比率の状況について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき平成25年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率の状況をお知らせします。

【健全化判断比率】

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	—	—	15.5	17.6
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

備考 実質赤字額および連結実質赤字額がない場合および実質公債費比率または将来負担比率が算定されない場合は「—」と記載しています。

【資金不足比率】

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足率	備考
公共下水道事業特別会計	—	令第17条第3号の規定により事業の規模を算定
農業集落排水事業特別会計	—	令第17条第3号の規定により事業の規模を算定
土地開発事業特別会計	—	令第17条第4号の規定により事業の規模を算定

備考 1 資金不足比率は、資金の不足額がない場合は「—」と記載しています。

2 備考欄は、事業の規模の算定方法を記載します。

* 令 地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令（平成19年政令第397号）

用語説明……

■実質赤字比率

一般会計の実質赤字額の標準財政規模（標準的な経常的一般財源の規模を示すもの）に対する比率です。

■連結実質赤字額

町の全部の会計の黒字額と赤字額を通算した後の実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

■実質公債費比率

一般会計における地方債の元利償還金と特別会計および一部事務組合などの起こした地方債の元利償還金（準元利償還金という。）のうち一般会計で負担する額の合計額の標準財政規模を基本とした額※に対する比率の3年間（平成23、24、25年度）の平均の数値です。

※標準財政規模から元利償還金などに係る基準財政需要額算入額を控除した額です。

■将来負担比率

一般会計における地方債の残高や特別会計および一部事務組合などの起こした地方債の残高、退職手当支給見込額（特別職を含む）、損失補償をしている第三セクターなどの負担すべき債務の見込額、連結実質赤字額、一部事務組合や土地開発公社などの赤字額などの一般会計が将来負担すべき実質的な負債の額の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。

■資金不足比率

一般会計における実質赤字額に相当する、公営企業会計の資金不足額の公営企業の事業規模に対する比率です。

■早期健全化基準

地方公共団体が、財政状況が悪化した状況において、自主的かつ計画的にその財政の健全化を図るべき基準として定められた数値です。健全化判断比率がこの数値を上回った場合は、「財政健全化計画」を策定し、議会の議決を受けた後速やかに町民に公表した上で県知事に報告しなければなりません。

■財政再生基準

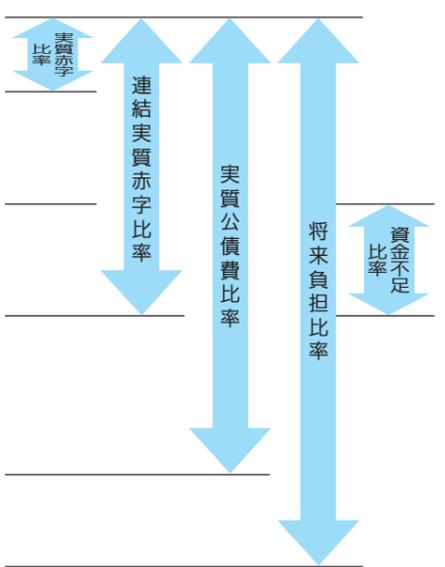
地方公共団体が、財政状況の著しい悪化により自主的な財政の健全化を図ることが困難な状況において計画的にその財政の健全化を図るべき基準として定められた数値です。将来負担比率を除く健全化判断比率がこの数値を上回った場合は、「財政再生計画」を策定し、議会の議決を受けた後速やかに町民に公表した上で総務大臣に報告し、その同意を受けなければなりません。

■経営健全化基準

地方公共団体が、自主的かつ計画的にその公営企業の経営の健全化を図るべき基準として定められた数値です。公営企業の資金不足比率が20%を上回った場合は、「経営健全化計画」を策定し、議会の議決を受けた後速やかに町民に公表した上で県知事に報告しなければなりません。

【健全化判断比率などの摘要範囲】

区分	広野町	
普通会計	①一般会計など	一般会計
公営事業会計	②公営企業会計以外の公営事業会計	国民健康保険特別会計 介護保険特別会計 後期高齢者医療特別会計
	③公営企業会計	公共下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計 土地開発事業特別会計
一部事務組合・広域連合	双葉地方広域市町村圏組合 双葉地方水道企業団 福島県市町村総合事務組合 福島県後期高齢者医療広域連合	
地方公社・第三セクターなど	双葉地方土地開発公社 社会福祉法人広葉会（リリー園）	



まちの話題

↓完成した災害公営住宅「広野原団地」



災害公営住宅「広野原団地」が完成

待望の広野町災害公営住宅「^{ひろのほら}広野原団地」が町内大字下浅見川字桜田地内に完成し、10月22日（水）から入居を開始しました。

これに先立ち、下浅見川集会所で11日（土）に入居者への説明会を、16日（木）に鍵引き渡し式と来賓向け内覧会を行いました。鍵引き渡し式では、「広野原」と命名した応募者に記念品を贈呈しました。

ALTによる英会話教室を開始

イギリスから広野町にやってきて、2学期からALT（外国語指導助手）として着任したニコラス・デイヴィッド・エヴァンス（通称ニック）による初心者向け英会話教室が、10月14日（火）から広野町公民館でスタートしました。

初日は、国旗を見て国名を当てるゲームなどを通して本場の発音に触れるとともに、自己紹介などの英会話を体験しました。



↑ALTによる英会話教室

二ツ沼総合公園の遊具を更新

10月1日（水）、二ツ沼総合公園で更新した遊具の内覧会を行いました。

更新した遊具は、大型複合遊具のみかんブースターなど10点で、国の福島定住等緊急支援交付金（子ども元気復活交付金）を活用して整備したものです。

内覧会には広野幼稚園の園児が参加し、「みんな遊んでいいよ」と先生が言うと、待ちかねたように好きな遊具を目指して走り出しました。



↑真新しい遊具で遊ぶ幼稚園児